

令和4年度第2回米子市国民健康保険運営協議会 書面開催でのご意見

1 令和4年度の国民健康保険事業状況について	
意見	回答
意見なし	

2 令和5年度保険料等について	
<p>単年度収支が均衡している現状を見るだけでなく、一人当たりの医療費が増加傾向にあることを踏まえ、将来を見据えた中長期的な視野で計画を立てることが望ましい。</p> <p>以上1件</p>	<p>一人あたりの医療費の増加については、厚労省も、医療の高度化や高齢化の進行などが背景にあると分析しており、当市のみならず全国的な課題。今年度から、団塊世代の後期高齢者医療保険への移行により、医療費全体は減少していくことが見込まれるが、国保加入者の減少による収入の減少も避けられない。</p> <p>国民健康保険事業の安定的な運営を図るためには、収納率の向上と、保健事業の推進により医療費の適正化に努めることが、健全運営の両輪である。一人あたりの医療費の減少は、被保険者の健康と繋がっており、今後も、生活習慣病の予防対策として「特定健康診査・特定保健指導」を、健康寿命の延伸対策として「糖尿病性腎症重症化予防事業」を実施することにより、医療費の適正化に努めたい。</p>